

平成30年度第1回横浜市福祉サービス第三者評価制度見直し小委員会会議録	
日 時	平成30年8月20日（月）10時00分～11時30分
開催場所	松村ビル別館 6階603会議室
出席者	須田幸隆小委員会委員長、相澤史人委員、白石玲子委員、吉原明香委員
欠席者	横川剛毅委員
開催形態	公開（傍聴なし）
議 題	1 横浜市福祉サービス第三者評価制度見直し小委員会について 2 議題 県域で標準となる評価基準の作成について 3 その他
議事要旨	<p>会議に先立ち、事務局から委員総数5名のうち4名の出席があり、委員の過半数を満たしていることから、「横浜市福祉サービス第三者評価推進委員会小委員会運営要領」第4条第3項の規定に基づき、会議が成立していることが報告された。</p> <p>1 横浜市福祉サービス第三者評価制度見直し小委員会について 小委員会の概要について資料1に基づき事務局から説明を行った。 併せて、横浜市福祉サービス第三者評価推進委員会小委員会運営要領 第3条第2項に基づく横浜市福祉サービス第三者評価推進委員会委員長の指名により、須田幸隆委員が委員長に就任した。</p> <p>2 議題 県域で標準となる評価基準の作成について 県域で標準となる評価基準の作成について、資料2、3及び4に基づき事務局から説明を行った。</p> <p><委員からいただいたご意見（要旨）> ○ヒアリングの時間に限りがある中、大幅に項目数が増えると負担が大きい。 ○評価項目を比べると、全国ガイドライン版に比べ、横浜市の方がより具体的で施設側の気づきを促すようなものになっている。 ○横浜市版に項目があり、全国ガイドラインで該当する項目がない内容については、監査等別の手段で確認する手段があるか。 （事務局回答） 事務局で改めて確認し、委員に回答する。</p>

	<p>○全国ガイドラインでは組織運営について、かなり細かい内容になっていてわかりやすい。</p> <p>○横浜市版ではひょう太君のマークに加え、各項目に評価調査員からのコメントが記載される。そういったものは残していくのか。 (事務局回答) 具体的な公表の方法については今後検討となるが、コメントについては、事業者の気づきを促す大切なものだと考えているため、引き続き残すことができるよう推進機構に働きかけていく。</p> <p>○横浜市版の項目はこれまで市内の福祉サービスの質を担保する、事業者の気づきを促す、事業者を支援する、という大切な役目を担ってきた。横浜市版の評価項目で大切にしてきた理念を盛り込むことができるよう、しっかりと読み込んだ上で回答したい。</p> <p>○県域で標準となる評価項目の運用にあたって評価の視点を示す冊子を作成してほしい。 (事務局回答) 作成していきたいと考えている。</p> <p>○推進機構の議論には横浜市の推進委員会委員は参加することができるのか。 (事務局回答) 推進委員会委員として企画課長が会議に出席しており、小委員会でいただいた意見についてはしっかりと伝えていきたい。 また、推進機構での議論については適宜小委員会にご報告していく。</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1：横浜市福祉サービス第三者評価制度見直し小委員会について ・資料2：県域で標準となる評価基準の作成について ・資料3：「全国ガイドライン」の概要について ・参考資料1：評価項目対照表
特記事項	特になし